令和6年度 第4回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：令和6年10月23日（水）18:30～19:30

会 場：6階602会議室

参加者：名取 はにわ会長・本田 純副会長・林 恭子委員・鶴岡 増夫委員・伊藤 ひとみ委員・田島 学委員・山本 桂子委員・功刀 隆委員・小堀 高広委員

事務局：市民部長、生活文化課長・男女共同参画係長・男女共同参画係員・男女平等推進センターコーディネーター

○議題

- (1) 東久留米市第4次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和5年度事業）
- (2) その他

・議題 (1) 東久留米市第4次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和5年度事業）

会 長：事務局より説明を。

事務局：まず、評価一覧（資料2）について説明したい。これまで、市民会議においては担当課の報告書ごとに評価していただいたが、総合評価のみを一覧にまとめることで施策単位ごとの評価が分かりやすいので配布した。これをもとに担当課へフィードバックし、低評価の事業について底上げを行いたいと考えている。

会 長：実際にこのように並べてみると目標Ⅱの施策2「学校等における男女共同参画の推進」が低調であることが浮かび上がってくる。生活文化課から担当課に対して改善を促していただきたい。

事務局：続いて答申文（最終案）（資料1-1）について説明したい。これは、第3回会議において出された意見を反映させたものである。

～答申文（最終案）を読み上げ～

会 長：事務局案に対して修正案を作成したので以下のとおり修正をお願いしたい。

- ・「3 意見交換（ヒアリング）について」の文中
「職員課とは女性職員の登用について」から、「～について」が連続する部分を削除。
- ・「4 令和5年度事業について」の文中
「振り返り」を「振返り」に修正。
「止む無く」を削除
「意見もありました。」を「意見がありました。」に修正
「必要に応じて見直す。」を「必要に応じて数値目標を見直す。」
- ・「5 今後に向けて」の文中
「①国の第5次男女共同参画基本計画において」の段落中の最終行に、「と

くに部長職以上には長年女性が付いていないとのことです。」を追加。

事務局：「5 今後に向けて」の文中に追加する文章については、当市では部長職以上の職層が無いため、「部長職以上」の「以上」を削除し、「長年女性が付いていない」の「付いていない」を前の文章との整合性を保つため「登用されていない」としたい。

会長：特に異論はない。

委員：「5 今後に向けて」の文中の「固定的性別役割分担意識」の「分担」を「分業」にし、「意識」を削除するのはどうか。

会長：長年、行政の中で「固定的役割分担意識」という言葉で使われていて、世論調査でも同じ言葉が使われている。また、「意識」という言葉は、現実と区別するという意味でも必要と考えられる。

委員：「5 今後に向けて」の文中で、元号と西暦の使い方を統一した方がよい。

委員：同じく、「5 今後に向けて」の「①国の第5次男女共同参画基本計画において」の段落中の「近隣5市と比較しても」という言葉があるが、「近隣4市」ではないか。また、男女共同参画都市宣言について、「10月1日に宣言した『男女共同参画都市』は、」と説明されているが、あまり聞きなれない言い方なので、「10月1日に発した『男女共同参画都市宣言』は、」として方がよいのではないか。

会長：ご指摘のとおりだと思う。

事務局：事務局の方で修正したい。

委員：部長職の登用に言及している部分で、どのような言葉がふさわしいか分からないが、プロパーの職員登用と分かるようにした方がよいのかもしれない。また、登用されていない期間が分かれば、書いた方がよいのかもしれない。

事務局：文言については事務局の方で考えたい。

会長：趣旨としてはそういうことなので、表現については事務局に任せたい。

・議題(2) その他

会長：事務局から説明を。

事務局：今回、8課が表彰の対象となっている。担当課への表彰について、昨年度については表彰のために市民会議を開催し、皆様にお集まりいただいて表彰式を行った。今後のあり方について、庁内の会議体である男女共同参画推進協議会や、事務局から担当課にフィードバックする際に表彰状を渡すなど検討を行っているところである。皆様のご意見を伺いたい。

委員：担当課のモチベーションが上がるのなら、表彰のために集まっても構わない。

委員：表彰の対象も8課に渡り、スケジューリングも大変なのかと思われる。

会長：この件については事務局に一任したい。

事務局：今後のスケジュールについて説明したい。10月29日（火）に名取会長、本田副会長にお越しいただき、答申を行う予定である。

また、10月26日（土）には、名取会長を講師にお招きした講演会を予定している。